

大谷小中学校だより

NO.11
令和5年 2月27日
珠洲市立大谷小中学校

人と出会い 考え 伝える ことからの学び

校長 上田 辰美

この時季になると、雑木林の木の周りだけ、丸く雪がとけていて、土が見え始めます。これは、雪国の春を告げる現象で、「根開き」というそうです。なぜ木の周辺だけ雪がなくなるのか。それは、木の温かさにあるようです。木が地下水を吸い上げる時、その水が外の空気よりも温かく、木の幹の周りの温度が高くなり、いち早く他の雪に先立つように丸くとけるのだそうです。木の周りのぽっかりあいた穴は、雪国の長い冬のトンネルの出口を象徴するものであると同時に、木の生命力の証であるようにも感じます。確かな息吹の中で、季節は確実に少しずつ春へと向かっています。



2月17日に、生活科・総合的な学習の時間の学習発表会を開催いたしました。昨年度より前期・後期課程合同での発表会となりました。令和2年度は、「思いを形にして表現する」ことに取り組み、令和3年度は、「形にしたものを伝えることを楽しむ」ことを大切にしました。そして、今年度は、「聞き手に楽しんでもらうこと(笑顔と笑いがある)」を大切にしました。「ふるさと」を柱にした発表会でよかったことを二つご紹介します。一つ目は、発信することを楽しむ姿があったことです。二つ目は、学んだツールを活用して、聞き手が楽しめるように各学年が様々な工夫を盛り込んでいたことです。後述において、当日の様子やご来賓の皆様・保護者の皆様の感想をご紹介しますので、ご一読いただければ幸いです。

さて、この発表会に至るまで、子どもたちは様々な人と出会って話を聞いています。ライフネット生命設立者の出口治明氏は、イノベーションを産もうと思ったら、ダイバーシティと、自分の頭で自分の言葉で考える力が必要と説いています。例えとして次のようなことを述べられています。【<おいしいごはん>と<まずいごはん>どっちを食べたいですか。おいしいごはんを因数分解したらどうなりますか。いちばん簡単な因数分解は、いろんな材料を集めて上手に調理する。では、<おいしい人生>と<まずい人生>どっちを送りたいですか。おいしい人生を因数分解したら、料理と同じで、「いろんな材料を集める」ということが「知識」です。「上手に調理する」が「自分の頭で、自分の言葉で考える力」です。「知識×考える力」がおいしい人生であり、教養であり、リテラシーであり、イノベーションとっていいです。】と。そして、既存知を組み合わせる時に、既存知どうしの間が遠ければ遠いほど面白い発想が生まれるというのです。できるだけ様々な立場の人が集まった方が、アイデアが出やすい。だから、できるだけダイバーシティあふれる環境に自らをおいて、「人・本・旅」で徹底的に考える力を鍛えないといけないというのです。

私たちが経験しなかった時代を生きる子どもたちに、この発表会は、様々な人と出会い、考えを知り、自分で考え、伝えることを経験できる場となっていると感じています。

ご来校いただき、子どもたちの発表をご覧いただきましたことに心より感謝申し上げます。

■ おめでとうございます！

【第49回新春百人一首かるた大会】

一般	1位	わかな
高学年	1位	みふゆ
低・中学年	1位	こうじ

【令和4年度 珠洲市少年文化賞】

6年 ひろと

読書感想画全国大会出品の結果が評価され、2月21日に市民図書館で表彰式が行われ、表彰されました。



■ スキー体験学習 2月2日(木) 3日(金)

5年生から8年生で、白山市へスキー合宿に行ってきました。お天気にも恵まれ、子どもたちは大満足の2日間だった様子です。3つの約束(安心安全に注意できる・挑戦と慎重を経験する・雪山の美しさを満喫する)もしっかり守ることができていました。

自然の家では、らいきさんとひなさんがリーダーシップを発揮しました。全員の感想発表や夜食のパンを選べる抽選券の用意、先生方も加わった全員でのゲーム大会など大盛り上がりでした。

22時直前までは、各部屋から楽しい声が響いていましたが、消灯時にはぴたりと声が止んで、一日の疲れをいやす睡眠タイムとなっていました。集団生活で時間通り行動することや、周りに迷惑をかけないために配慮をすることを実行できていました。



■ 大谷地区社会福祉協議会様より 2月7日(火)

大谷地区社会福祉協議会の皆様が、子どもたちのより良い暮らしのために、生活安全グッズを贈呈してくださいました。司会進行をして頂いた中島様、ご挨拶いただいた豊平様をはじめ、龍泉様、角花様、大廣様、本当にありがとうございました。様々なグッズが入った可愛いソックスを一人一人に手渡していただき、子どもたちは大喜びでした。



■ 委員会発表での工夫 2月7日(火)

児童・生徒集会で、各委員会から工夫したお知らせがありました。保健体育委員会からは、「〇〇で元気!」について、ペットボトルで換気実験をした結果報告がありました。図書委員会からは、おすすめの本とその理由の発表があり、読書ラリーの現状報告がありました。アメリカ大陸を目指す中で、現在、各チーム、大宮・東京までたどり着いたとのことです。執行委員会からは、2・3月の生活の目当て「目標をもってステップアップ~新生活に向けて準備しよう~」が発表されました。また、金曜日の1分間スピーチのお題の変更のお知らせがありました。



■ そり・スキー遠足 2月10日(金)

柳田植物公園で、2年生~4年生がそりとスキー体験学習を行いました。あいにくのお天気でしたが、能登少年自然の家の皆様のご指導のもと、子どもたちは寒さに負けず取り組み続けて、楽しんでいました。スキーは、失敗してうまくなることを一日で学び実感できるスポーツでもあります。自己流では、一日でうまくなることは難しいものですが、教えていただいたことを素直にやってみることで上達し、満足感を味わうことができます。全員上手になっていました。そりは、思い切ってやってみてスピード感を楽しんでいました。お昼は、カレーを頂き、ほっと一息温まることができたようです。お世話になりました皆様、寒い中ありがとうございました。



■ 遊びのチャンピオン大会 2月12日(日)

青年福祉委員の皆様のお世話で、遊びのチャンピオン大会が開催されました。子どもたちは、ジェスチャーゲームやタワーづくりなど、縦割り班で夢中になって遊び、着ていた上着を脱ぐほどでした。学校で見せる表情とはまた違った部分もあり、安心して甘えながら楽しんでいました。11時過ぎにお迎えにおいでたお家の方が、様子を見ながら、「こんなにしてもらってありがたいなあ。ようやってくれてや。」とお話しておいでました。青年福祉委員の皆様、本当にありがとうございました。



■ 生活科・総合的学習の時間の発表会 2月17日(金)

下記のプログラムで、2年生から9年生までの学びの成果学習発表会を行いました。

子どもたちは、学んだツール(プログラミング・ペッパー・QRコード・絵・紙芝居・歌・グラフ・具体物・プレゼン)を活用し、分かりやすく、楽しく表現し、一生懸命聞いてくださる会場の皆様に興味を持って楽しんで聞いていただこうとしていました。各学年が工夫を凝らし、子どもたちが伸び伸びと表現することで充実した発表会となりました。

2年生は、紙芝居やプログラミング教育での学びを生かして、歌で季節の場面転換を表現し、学んできたことや考えたことを発表しました。最後にお互いへのお手紙を披露しました。3・4年生は、里山里海の生き物について調べて分かったことをQRコードを使ったアンケートにしたり、体全体で生き物の特徴を表現するなど、アクティブ感が魅力でした。聞いている人を飽きさせないように楽しい工夫が盛り込まれていました。5・6年生は、3つのグループに分かれて環境に優しい取組を紹介したり、言われてうれしい言葉紹介や百面相的顔写真を使ったSDGs大喜利など、ペアで協力して発表できていました。7年生は、おすすめの観光コースや鯉のぼりフェスティバル復活に向けての取組について発表しました。8年生は、学校CM作りを行い、昨年度になかったインタビュー動画挿入にチャレンジしました。笑顔の写真を沢山活用し、時系列で学校の歩みを紹介できました。9年生は、安心して暮らすために防災に関するアンケートをまとめたり、実際に防災グッズバックの中身を紹介したりしながら、各家庭での話し合いを促していました。



学年	テーマ
3・4年生	びっくり生き物はかせ～SDGsと生き物～
2年生	2年生の はる・なつ・あき・ふゆ
7年生	もう少し〇〇すれば、みんなハッピーになれるのにな～7年生からの提言～
8年生	大谷の魅力を発信します!～大谷地区の愉快的仲間たち～
5・6年生	今ある「当たり前」を未来に残すために
9年生	誰もが安心して住める・観光できる大谷町～災害に強い町づくり～

■ 学校運営協議会 2月17日(金)

学校運営協議会を開催いたしました。校歌のフレーズを利用し、「伸びゆく子どもを育てなむ」を全員で合唱することから会がスタートしました。1年間の歩みの紹介映像をご覧いただき、学力調査結果や12月のアンケート結果の報告を行い、評価を頂きました。詳細は学校だより11号特別号とHPに掲載しますので、ご覧ください。その後、「学校が楽しいと思える子どもの育成」と「将来に夢や希望を描くことができる子どもの育成」について2グループでご協議を頂きました。自己肯定感を高めることの大切さ、教師との関係づくりについて確認することができました。熱心なご協議を頂き、ありがとうございました。

3月 行事予定

軽トラの荷台に式花桜草 辰美

1	水	読書量表彰13:15 研水日(GIGA)8:10 街頭指導7:30 安全点検	11	土		21	火	春分の日
2	木	7・8年期末テスト	12	日		22	水	
3	金	7・8年期末テスト 全校補除	13	月	卒業式10:00	23	木	
4	土		14	火	■児童生徒集会①8:30	24	金	終業式・修了式
5	日		15	水	公立高校合格者発表12:00 街頭指導7:30 ●職員会議④15:30 定時退校日	25	土	
6	月	石川県児童・生徒科学作品コンクール優秀作品展示～10日	16	木	全校補除	26	日	
7	火	公立高校学力検査等 (国語、理科、英語)	17	金	■委員会①15:30 短縮A ■PTA新役員会②	27	月	
8	水	公立高校学力検査等 (社会、数学、面接) ●校内研修会15:30	18	土		28	火	PTA会計監査
9	木	5限6年生を送る会	19	日		29	水	
10	金	3・4限卒業式予行	20	月		30	木	離任式予定
						31	金	

■ 保護者の皆様のアンケートから 生活科・総合的学習の時間の発表会に参加して

● 各学年が、1年間一生懸命取り組んだ学びの集大成だなあと感じました。2年生の紙芝居は枚数も多くて大変だったと思います。3・4年生のQRコードを取り入れてのクイズは新しさと面白さがありました。5・6年生のSDGs学習は身近なことをテーマにして、分かりやすく楽しめました。7年生の発表が次年度形になればと期待しています。8年生のCM一言で「すご～い!」と思いました。9年生の発表を見て、防災を身近に考え、普段から細かなチェックをしようと思いました。素敵な時間をありがとうございました。

● 1年間活動してきたことを、一人一人が自信をもって大きな声で発表していて素晴らしいと思いました。自分たちで調べたり、考えをまとめる力はすごいと思います。今年も子どもたちがまた成長したことを実感しました。のびのび育ち、笑顔がたくさんの大谷小中の子どもたちはやっぱり最高です。

● みんなそれぞれ、今日のために、いっぱい調べていっぱい悩んで考えたんだろうな、と感心しました。全員の発表の中に「大谷」の良さがたっぷり詰まっていたので、いつもよりは楽しく、共感できる場所がいっぱいあって、眠くならない内容でした。SDGsの大切さを改めて教えてもらい、勉強になりました。また来年の発表を楽しみにしています。

● 各学年、それぞれ特色ある発表でよかったです。どの学年も珠洲大谷の魅力が表現されていて、すごいアイデアを発信していました。CMやリーフレットなど、実現して欲しいと思います。子どもが算数や国語といった授業以外にもいろいろなテーマの授業をしていることに驚きました。いろいろなことが身につく、大人顔負けだと思います。

● 2年生…お手紙コーナーがありほのぼのとしてかわいい!紙芝居が本当に力作で、素晴らしいと思いました。畑仕事からプログラミングまで、いろんなことを学んでいて楽しそうですね。3・4年生…いろいろな人に話を聞いていい経験をしているなどと思いました。クイズは難しく面白かったし、みんなの動きがかわいかったです。5・6年生…SDGs問題について考えられていたし、再利用をして作ったものの紹介があったり、資料を工夫していて面白かったです。普段から人を幸せにする言葉を意識してください。7年生…学校で、鯉のぼりフェスティバルにかわるイベントを計画していてビックな計画ですごいです。がんばってほしい。8年生…とても素敵なCMでした。やっぱり、仲がいいのが一番だと思います。9年生…すごく見やすい資料で、しっかりとした発表でした。外に出てインタビューすることで、リアルなデータとなっていたと思う。防災グッズを買ってそのままにしているので、点検しようと思います。

● クイズや感動の手紙、おもしろいし、よかったです。珠洲市のリーフレットをいろいろな場所に設置してもらえば、大谷にたくさんの方が来てにぎやかになってくれると思います。CMでは、たくさん笑顔を見て、元気になりました。最近、断水、停電などがあったので、家で保管してるものを点検・準備したいです。各学年の発表、よかったです。

● 案内の予定時間を見て、長く感じるかなと思いましたが、あっという間でした。毎回、興味深い内容です。題材が過去と似ていても内容が毎回楽しみです。リラックスして発表して楽しませているところは、まさに発表慣れなのかなと思います。今後も自分の力としてください。関心は「戦争」のテーマの発表でした。

■ 子どもたちのために ありがとうございます

● 2月14日に、調理員の前田さん、二谷さんより、子供たち、職員一人一人にチョコレートをいただきました。

■ 第6回卒業証書授与式

●日時 令和5年3月13日(月)10:00より

●場所 大谷小中学校体育館

本来ならば、地域の皆様にご臨席を賜り、卒業生の門出を共に祝っていただくところではありますが、今年度まで、規模を縮小した上で挙行いたします。出席者は家族、一部のご来賓、在校生及び職員とすることといたしました。国・県・市の方針を受け、職員・児童生徒はマスク着用なしで行う場があります。

卒業生へのこれまでのお心配りに感謝申し上げますとともに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。